

科目名 (Eng)	現代英語 I (Contemporary English I)								
担当教員	鳥居 孝栄								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	各専攻共通一般科目	1	前期	選択	2	(30)	一般	A	○
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(C-5), (F-4), (F-5), (F-6). 修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：3), 6). JABEE基準1(1)との対応：【機械電気/物質環境】(f) 【ビジコミ】(f)								
授業の概要と方針	英字新聞の読解を通して、英文を正しく読み取る力を養うとともに、現代の様々な問題について考察させる。また聞き取りの基礎的な力を養う。								
到達目標	①英文法や構文の基礎力を応用して、英字新聞の概要が読み取れる。 ②英字新聞に頻出する重要語句を習得する。								
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習		
前期	1	授業の進め方、TOEIC演習	予習・課題のやり方				教材等の準備		
	2	Chapter 1、TOEIC演習	国内政治、 result in～				レポート、辞書を使って予習		
	3	Chapter 1、TOEIC演習	国内政治、 credit～to～				レポート、辞書を使って予習		
	4	Chapter 2、TOEIC演習	ビジネス、 付帯状況				レポート、辞書を使って予習		
	5	Chapter 2、TOEIC演習	ビジネス、 be likely to～				レポート、辞書を使って予習		
	6	Chapter 3、TOEIC演習	外交・国際会議、 be to blame				レポート、辞書を使って予習		
	7	Chapter 3、TOEIC演習	外交・国際会議、 accuse～of～				レポート、辞書を使って予習		
	8	Chapter 5、TOEIC演習	軍事、 participate in～				レポート、辞書を使って予習		
	9	Chapter 5、TOEIC演習	軍事、 point out～				レポート、辞書を使って予習		
	10	Chapter 6、TOEIC演習	災害・気象、 provide～for～				レポート、辞書を使って予習		
	11	Chapter 7、TOEIC演習	犯罪・司法、 be charged with～				レポート、辞書を使って予習		
	12	Chapter 8、TOEIC演習	環境・公害、 be to 不定詞				レポート、辞書を使って予習		
	13	Chapter 9、TOEIC演習	科学・医療、 be due to～				レポート、辞書を使って予習		
	14	まとめ、TOEIC演習	重要構文・重要単語				ノート整理		
	15	答案の確認、TOEIC演習	総復習				テストの反省		
試験について	中間試験は実施しない。期末試験は、100分の試験を実施する。								
評価方法	定期試験80%、課題20%で評価する。								
教科書	English for Mass Communication 2011 Edition、堀江洋文、朝日出版社								
参考書									
関連科目									
履修上の注意	予習の段階で、辞書やテキストの注を使って、英文の大意を把握して授業に臨むこと。自学自習の確認方法—レポートを定期的に提出させる。								